

葛飾区立梅田小学校



4年生の総合的な学習の時間の中で、「手話体験」「アイマスク ガイドヘルプ体験」を行いました。

「手話体験」では、日常で使うあいさつや自己紹介などの簡単な手話を教えていただき、実際に手話を使ってあいさつや自己紹介を練習しました。また、ジェスチャーでのコミュニケーションをとる体験も行いました。言語を使わず、思っていることを相手に伝えることは、とても難しいことであると実感していました。体験後には、手話で教えてもらった自分の名前を友達と紹介し合う姿も見られました。

「アイマスク ガイドヘルプ体験」では、アイマスクを付けた児童が友達のガイドを受けながら歩いたり、椅子に座ったりしました。「見えない」という体験は、普段の生活ではなかなか体験することのない貴重な経験です。ガイドヘルプ体験においては、自分ではうまく指示してサポートしたつもりでも、アイマスクを着用している児童が思うように動けない様子を見て、戸惑う姿が見られました。目が見ないことで耳からの情報がとても重要であることも知りました。肩をたたいてから声をかけたり、やさしい声で話したりして工夫している様子が見られました。

福祉体験を行ったことにより、福祉に対する関心が高まり、日常生活の中で今まで気付いていなかった事象に目を向けられるようになりました。共生社会を目指して、誰もが過ごしやすい環境作りを行うことの大切さを学びました。